

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院の整形外科で治療を受けた方およびご家族へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自分あるいは御家族の診療情報等を研究目的に利用または

提供されることを希望されない場合は、2026 年 12 月 31 日までに後述の問い合わせ先までご連絡下さい。解析対象より除外いたします。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会（臨床試験部会）にて審議され学長の許可を得て実施しております。

研究課題「側臥位での脊椎固定術の有用性・安全性の研究」へのご参加のお願い

- (1) 研究課題名 側臥位での脊椎固定術の有用性・安全性の研究
- (2) 実施責任者 飯沼 雅央
- (3) 研究の目的

近年整形外科では側方侵入による低侵襲脊椎固定術が普及してきています。一般には側方侵入手術は術中に横向きから腹ばいに体勢を入れ替える必要があります。ただ、側臥位スクリューを刺入すれば、体位変換を省略することができますが、その有用性・安全性については検証が必要です。本研究では、脊椎手術における体位変換を行わない側臥位でのスクリュー刺入の有用性・安全性について検証を行うことで、手術時間の短縮・麻酔合併症の低減など、患者さんの侵襲低減を行うことを目的としています。

- (4) 研究対象について

2022 年 4 月 1 日～2026 年 07 月 22 日の間に当院の整形外科で入院・手術を受けた方が対象となります。

- (5) 研究実施期間

承認後～2027 年 12 月 31 日

- (6) 抽出項目

年齢、性別、身長、体重、手術・入院主病名、手術術式、既往歴、採血結果、手術時間、麻酔合併症、画像所見（レントゲン、CT、MRI）、患者アンケート（ODI など）、入院時 ADL 自立度（functional independence measure, Barthel index）・栄養状態・簡易嚥下評価ツール EAT-10

- (7) 個人情報の保護について

この研究では登録の時に、新たに研究用の登録番号を付し、個人が特定できないように取扱います。個人情報と症例登録番号の紐づけ表を作成し、西部病院総合医局の

鍵付きの棚で厳重に保管します。

(8) 研究結果の公表について研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

(9) 本研究への参加を希望されない場合下記までご連絡ください。この調査の対象となられる方で、ご自分あるいは御家族の情報を登録したくない場合は、2026 年 12 月 31 日までに下記連絡先までご連絡下さい。解析対象より除外いたします。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

研究に協力しないことによって不利益な取り扱いを受けることはありません。

(10) 問い合わせ先・相談窓口

聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院

医局名：整形外科学

医局内線番号：3334

住所：〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町 1197-1

電話：045-366-1111(代表)

担当医師：飯沼 雅央

対応時間：平日 9 時～17 時